

2014年11月に愛知県・名古屋市で「ESDに関するユネスコ世界会議」が開催されます。ESD (Education for Sustainable Development) とは「持続可能な開発のための教育」「持続発展教育」と訳されます。ESDは、一人ひとりが世界の人々や世代、環境との関係性の中で生きていることを認識し、行動を変革するための教育です。ユニーはESDの考え方を取り入れた環境学習に取り組んでいます。

ESD (持続可能な開発のための教育) とは

地球の温暖化、資源の浪費と枯渇、生態系サービスの劣化など、私たちが生きるための基盤である地球環境が持続可能な状況になりつつあります。また、世界中の人が私達日本人と同じ生活をする、地球2.3個分の食糧や資源が必要だといわれています。このような状況であることを意識せずに食糧や資源を使い続けられれば、未来の子ども達は生きていくことが困難になるかもしれません。誰もが幸せに生きることのできる社会、つまり持続可能な社会を構築するためには、今と未来に想いを馳せ、地球の限りある資源を大切に使う暮らしや社会、そして一人ひとりの行動を変えていかないとはいけません。そのための学びあいがESD、持続可能な社会づくりのための教育です。

2014年に愛知県名古屋市で開催される「ESDに関するユネスコ世界会議」は、これからのESDについて協議する重要な国際会議です。このように国際社会、日本社会において、持続可能な社会をつくり上げるための人材育成、教育 (ESD) を推進することが重要課題となっています。

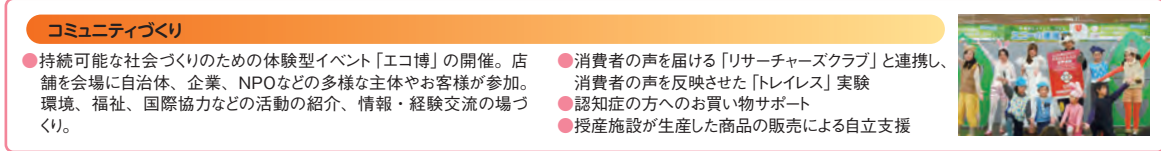
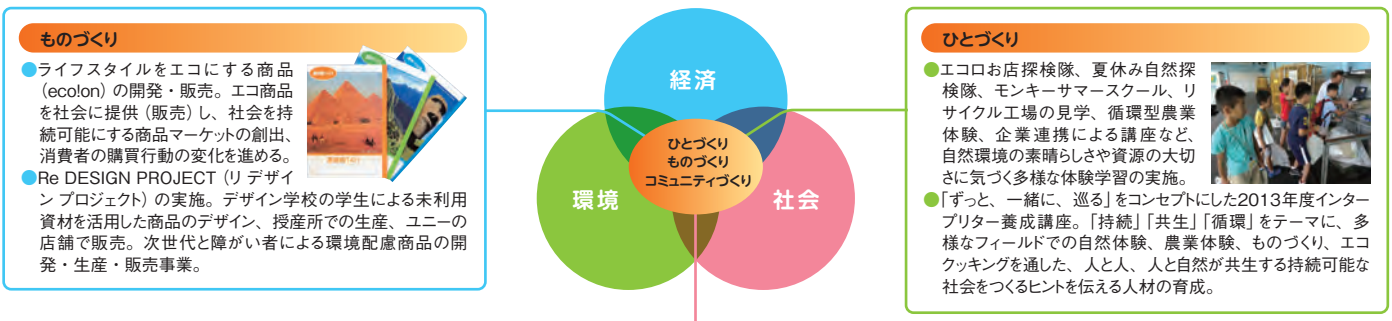
●ESDの歩み

- 1992年 国連環境開発会議 (ブラジル/リオ・デ・ジャネイロ) にて、持続可能な開発のための教育 (ESD) の重要性をうたった「アジェンダ21」を採択
- 2002年 持続可能な開発に関する世界首脳会議 (南アフリカ/ヨハネスブルグサミット) にて、日本の提案による「ESDの10年」が実施計画に盛り込まれる。第57回国連総会にて、ユネスコを主導機関として「国連ESDの10年」(2005～2014)を採択
- 2005年 「国連ESDの10年」スタート
- 2014年 「持続発展教育 (ESD) に関するユネスコ世界会議」(日本/愛知県・名古屋市、岡山市)



ユニーのESD

ユニーでは環境活動・社会貢献活動において、お客様、地域の方々、お取引先様、従業員などが一緒になって持続可能な社会をつくることを目指しています。ユニーが行っている環境学習はESDの考え方を取り入れています。持続可能な社会を担う子ども達に、お店探検隊や農業体験、自然探検などの体験学習を行うとともに、店舗では、いろいろな人が出会い交流する場を提供するなど、皆が集える地域のコミュニケーションスペースとしての機能づくりにも取り組んでいます。こうした普段の取り組みが知らず知らずのうちにESD活動となっているのです。



持続可能な社会づくりを牽引する企業としてESDに取り組んでほしい

本レポートから、御社がお客様、地域、他社、サプライチェーンとともに、生産、流通、消費、処理 (リサイクル・廃棄など) の各工程における環境改善に果敢にチャレンジし、その取組を、子ども、家族、地域の人々を対象にした環境学習・ESDプログラムに加工し、実践されていることを読み解いた。製造・生産者と消費者をつなぎ、その過程に環境、福祉、人権・雇用、国際協力、地域再生といった課題を組み入れ、学びあう場を創っている。各店舗の店長が、環境学習のリーダーとして存在し、社内の体制が構築されている。まさにESDであり、世界に誇れる取り組みである。本年11月、「ESDユネスコ世界会議」が愛知県・名古屋市で開催される。その際に行われるワークショップのテーマの一つに「持続可能な消費と生産」が予定されている。持続可能な経済・社会の実現を加速化するために、世界会議で公表されるであろう「グローバル・アクション・プログラム」の具体的実行を進めるために、御社が持つ多様な素材や機能、ステークホルダーとの関係性、これまでの経験を活用した斬新なESD活動をさらに展開していただきたい。

